

道路をもっと有効に活用しよう

“にいがたのみちを快適に使う会”発足



初会議であいさつする篠田市長

「にいがたのみちを快適に使う会」が発足し、9月24日に初めての会議が開かれました。

同会は、道路の有効活用などについて意見やアイデアなどを集約し、道路政策へ提言を行う市民組織です。会長の篠田市長は、「全国的にも珍しい取り組み。新潟から新しい運動を発信していき

い」と話しています。この日の会合では、産業経済、まちづくり、暮らしなどの分野で活躍する7人が幹事として出席。昨年、日本海東北自動車道で実施された通行料金の割引実験で新幹線料金の交通量が減った事例報告を受け、「料金の値下げだけでは渋滞解消の根本的な解決策にならないのでは」と、積極的な意見が出されました。

今年度は「高速道路」をテーマに、「活用・安全・暮らし・環境」の4つの観点から意見交換を重ね、国などに提案していきます。

同会では、高速道路に関する意見や要望、アイデアなどをメールなどで募集し、皆さんの声をお寄せください。

「違法駐車はイケマセン」

交通事故や渋滞などの原因となる違法駐車を防止しようと、10月から万代シティ周辺、新潟駅前などで啓発活動を行います。

この活動は、交通誘導員が対象地区を巡回し、駐車場マップやステッカーを活用して駐車禁止を呼びかけるもの。古町周辺地区では平成9年度から同様の啓発活動を進めており、効果をあげています。



歌舞伎 基礎講座

歌舞伎の楽しみ方をわかりやすく紹介します。第1回では歌舞伎の基礎知識を、第2回は市民歌舞伎一座・新潟歌舞伎みなと座が来年2月に演じる「お染久松野崎村」など歌舞伎の見どころを、第3回は「掛け声」の掛け方を解説します。講師は演劇研究家の

市長随想

ひろくき雲

◇9◇

先月21日、越後が生んだ良寛さんをテーマに文化フォーラムが開かれました。「清貧の思想」で知られる作家の中野孝次さんと敬和学園大教授の北嶋藤郷さんが、それぞれの立場から良寛を語る興味深い内容でした。

「物がある現代にあつて、徹底的に物を持たない生き方をした良寛を慕う人がなぜこれほど多いのか。その不思議を書いてきた」と中野さんは切り出しました。

中野さんは現代人を引きつけてやまない良寛の魅力を五つの切り口から解説しました。

良寛さんに何を見る

「ゼロの状態にあるからわずかのことでありがたい。いまの子どもたちは生まれたときから何でも与えられてきたからありがたみが分からない」と中野さんは言います。

4点目は、「身を閑に置く」

「世の中にまじらぬとにはあるねどもひとり遊びぞわれはまされる」との良寛の歌を思い出しました。

最後の5点目は「自らの考えて正しいように生きよ」との精神です。横並びや世間並

「良寛が修行した岡山県玉島の円通寺住職や良寛の謎に迫る郷土史家、良寛を追い続ける研究者や写真家などから「それぞれの良寛」について尋ねた旅は心躍るものでした。

先日のフォーラムで北嶋さんは「暮らしは低く思いは高く、シンプルライフを送った良寛を21世紀の賢者として世界に押し出していく時代」と語りました。新潟から良寛さんの心を世界に伝えていきたいと思えます。



篠田 昭

市民の皆さんのご協力をお願いいたします。

お問い合わせ 土木企画課 交通安全対策室(☎内線2932)へ

「選挙に行こう!」

キャッチコピー入賞作品決まる

市内在学の高校生、専門学校生、大学生と市内に在住する20代の人から、417人・672作品の応募がありました(敬称略)。

◆優秀賞 「えっ?!行かないの?」長崎由美、「投票で未来へゴールをきめたいらう!」佐藤唯、「帰りは外食だ!」中山真由子

◆佳作 「行ってみよっ!まず「わたし」から」小船井美穂、「いつも遊んでたアイツ、立候補しちゃったよ!」高山篤子、「選挙行きてえなあ」渡部晃充、「ちよっと選挙に行つてきます。母より」前田大輔、「託しに行こう夢を人を未来を」入山優希乃

お問い合わせ 市選挙管理委員会事務局(☎内線3302)へ

講座名	日時	会場	定員
入門編	11月24日		
歌舞伎の魅力	午後1時半~3時半	スタジオB	各120人
新潟歌舞伎鑑賞会	来年1月17日		
のみどころ	午後1時半~3時半		
実践編	来年1月31日	5階 会議室	20人
掛け声講座	午後1時半~3時半		

輝かしい歴史と伝統を誇り、演奏レベルの高さから名実ともに世界一のオーケストラと称される「ウィーン・フィル」。同オーケストラのコンサートマスターを務めるライナー・キユツヘルなどのトップメンバーにより結成されたアンサンブルです。

「シュトラウス世のオペレッタ「こうもり」序曲やワルツ「ウィーンの森の物語」など、新年を祝うワルツやポルカを演奏します。

開演 来年1月15日午後7時

会場 コンサートホール

チケット S席6000円、A席5000円、B席4000円、C席3000円

10月12日から同館と主なプレイガイドで発売

お問い合わせ 同館チケット専用ダイヤル(☎224・5521)へ

10/12に「リサイクルフェスティバル」

市民の皆さんからリサイクルに関心を持ってもらおうと、リサイクルの拠点・エコプラザで、10月の3R(リデュース・再利用・リサイクル)再生利用)推進月間に併せて毎年開催しているもの。今年も「それって大切!リサイクル」をキャッチフレーズに、大人から子どもまで楽しめるイベントを多数用意しています。表。

日時 10月12日午前10時~午後3時

問い合わせ 同プラザ(☎270・3009)へ

催し物	内容
リサイクル体験コーナー	ボトルクラフト、アルミ缶工作(アルミ缶持参)、厚紙工作(お菓子の箱などの厚紙持参)、柳の枝でコースター作り、アクリルたわし作り(アクリル100%の毛糸持参)、ペットボトルで植木鉢作り(ペットボトル持参)、ほか
PRコーナー	電動生ごみ処理機補助制度のPR、ほか
リサイクルお楽しみ劇場	「NAMARA」環境お笑いライブ、環境ミニライブ、パネルシアター、世間亭東志郎の環境お笑い落語
リサイクルマーケット	野外のテントで開く「のみの市」
作品・パネル展示	リサイクル作品の展示、ボトルクラフト作品展、ほか

同フェスティバルは、10月の3R(リデュース・再利用・リサイクル)再生利用)推進月間に併せて毎年開催しているもの。今年も「それって大切!リサイクル」をキャッチフレーズに、大人から子どもまで楽しめるイベントを多数用意しています。表。

日時 10月12日午前10時~午後3時

問い合わせ 同プラザ(☎270・3009)へ

10月11日は臨時休館

園芸センター

申し込み ☎は当日直接同センターへ、☎は10月8日(必着)までに往復はがき(1枚につき1人)に住所、氏名(ふりがな)、電話番号を記入し、〒950-0852、石山2-2-38、同センター(☎286-1034)へ

あす6日、10月14日休園

秋の盆栽展

日時 10月11日~13日午前9時~午後4時

秋植え球根類の育て方講座

日時 10月24日午後1時半~3時半

定員 50人(応募多数の場合抽選)

雇用創出・産業活性化総合戦略会議

日時 10月10日午後2時半~5時

会場 市役所本館6階第1委員会室

傍聴者の定員 10人(当日直接会場へ)

問い合わせ 産業企画課(☎内線2517)へ

松岡達英(絵本作家)原画展~自然だいすき

日時 10月11日~19日午前9時半~午後6時(19日は午後4時まで)

会場 市美術館 10月14日は休館

問い合わせ 舟江図書館(☎223-3235)へ

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

立見席を発売

開演 11月9日午後3時

会場 りゅーとびあコンサートホール

チケット 8,000円(場所指定)

申し込み 10月11日午前11時からりゅーとびあチケット専用ダイヤル(☎224-5521)へ

発売枚数70枚。1人2枚まで

ゆりかご学級3期

内容 子育てについての学び合い

対象 平成15年5月~7月生まれの子ども保護者各会場先着30人 保育あり

期日(全7回)	会場・申し込み	時間
11/4~12/16(毎週火曜)	東地区公民館(☎241-4119)	午前10時~正午
11/5~12/17(毎週水曜)	石山地区公民館(☎286-5631)	
11/6~12/18(毎週木曜)	西地区公民館(☎261-0031)	

アクアパークにいがた 秋の収穫祭

日時 きょう5日午前10時から

内容 新米コシヒカリ・新鮮野菜・果物の販売、おにぎりの無料配布、ほか(無くなり次第終了)

問い合わせ 同館(☎264-6400)へ

市消費生活センター 商品テスト教室

繊維と洗剤について調べよう

日時 10月17日午後1時半~3時半

内容 セーターの洗濯と最近の繊維について

対象 成人先着12人

申し込み 同センター(☎内線2412)へ

鳥屋野地区公民館 児童期家庭教育学級

日時 11月5日~12月3日毎週水曜午前10時~正午

内容 『信じてよう子どもの力、受けとめようあなた自身』

対象 小学1・2年生の保護者先着20人

申し込み 同館(☎285-2371)へ